

与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン市民説明会の開催結果

1 市民説明会の開催概要

平成27年11月に策定した「与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン」(以下「本プラン」という。)を周知するために、以下のとおり市民説明会を実施しました。

【開催場所】

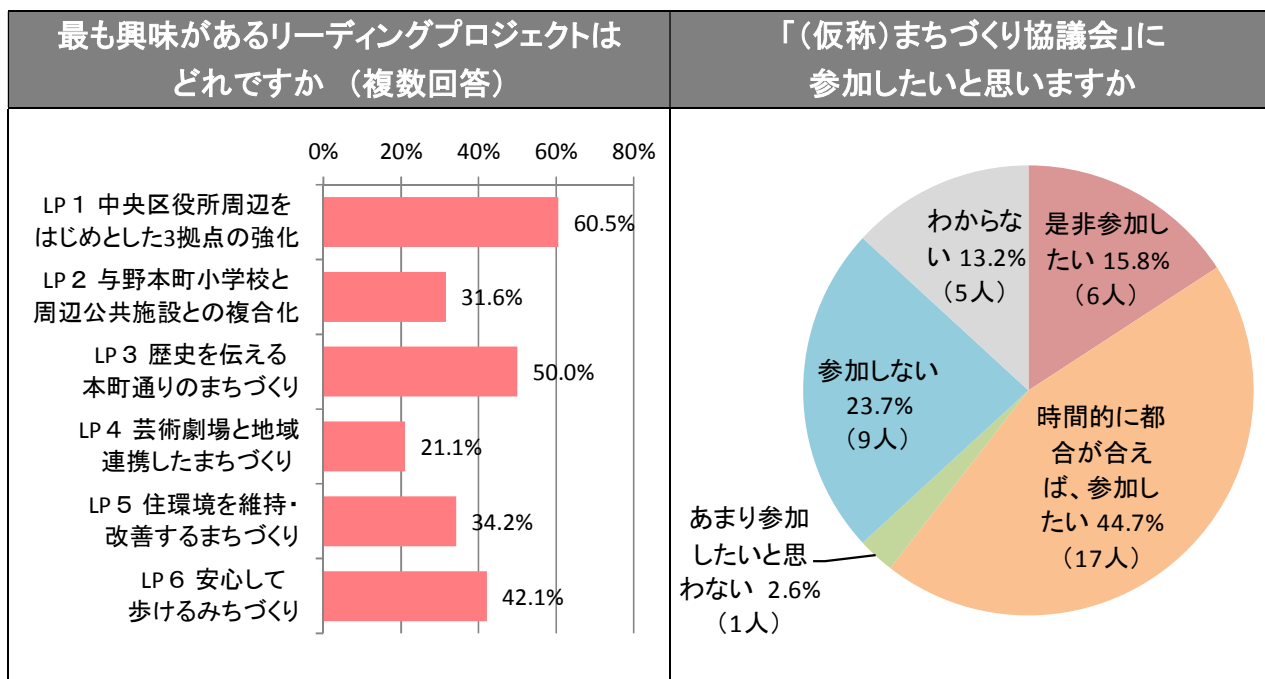
与野本町コミュニティセンター

【開催日時及び参加者数】

開催日時	参加者数
平成28年1月14日(木) 19時	9名
平成28年1月16日(土) 10時	28名
平成28年1月16日(土) 14時	10名
計	47名

…アンケート結果…

市民説明会で行ったアンケートの結果は、以下のとおりです。



	主な意見及び感想等	対応等
住宅に関する意見	与野本町駅周辺に作っていく中層住宅や複合住宅は、市営住宅のようなものを考えているのか。若い世代が住みたくなるような施策が必要であり、住宅に関する支援は大きな割合を占めるものだと思う。低所得者も入居できるような住宅も必要だと思う。	本プランでは、リーディングプロジェクトの1つに住環境を維持・改善するまちづくりを掲げており、ゾーニングでは中層、低層などと示しています。市営住宅等という形はなく、良好な住環境を形成していきたいと考えています。
公共施設の再編に関する意見	与野郷土資料館は、中央区役所内に常備施設としてその機能を入れ、与野本町小学校内には、待機児童に対応できるスペースを確保すべきではないか。	与野郷土資料館は、与野本町小学校の北校舎建替えに伴い、市民が参加しているワークショップ等を踏まえて決定しています。
	中央消防署は、国有地に移設を検討していると聞いている。国有地に移設してしまうと消防署の点呼などが騒音の問題になると思うので、消防署は現在の場所が良いと思う。	中央消防署は、現時点では、国有地を移転先の候補地として検討しています。
本町通りに関する意見	本町通りの道路拡幅はまだ先のようなのだが、歩道が無く危ないため、交通の安全面に考慮して検討を進めて欲しい。	本町通りについては、沿道にある現状の空間を生かして取組を進めていきたいと考えています。
	本町通りを拡幅する場合、沿道の建物を移転させることになるのか。	拡幅する場合は、部分的に移転や移転に伴う補償などが発生しますが、それについては、住民の意向に沿って進めることになると考えています。
道路に関する意見	障害者等にも配慮したまちづくりを今後重点的に考えていくのか。車いすの方にも対応するようなイメージはあるのか。	リーディングプロジェクト6に「安心して歩けるみちづくり」を掲げており、若い方から高齢者の方まで、安心して歩いて暮らせる住環境の形成を目指していきたいと考えています。
	与野本町駅周辺の都市計画道路の整備時期の見通しを知りたい。与野本町駅西側の都市計画道路の幅員を見直す余地は無いのか。	与野本町駅西側の道路の整備の必要性等については、必要に応じて沿道住民に意見を伺いながら、検討することになります。なお、現時点では当該道路の整備時期は未定です。
	円乗院から区役所へ向かうルート上の橋は、自動車の交通量が多く、安心して通れないので、歩行者、自転車専用の橋を新たに設けてほしい。	今後、鴻沼川沿いの散策路の整備など本プランを具体的に進めていく中で、頂いた御意見を参考に考えていきます。
水辺に関する意見	当地区の中央に位置する鴻沼川と高沼用水路の東縁と西縁を十分に活用し、魅力ある水辺のまちも進めて行ってほしい。また、遊歩道化等を含めて河川の美観をお願いしたい。	鴻沼川と高沼用水路は、水辺の散策路として本プランに位置付けており、出来るところから取り組んでいきたいと考えています。
	高沼用水路は一部遊歩道が整備されているが、鴻沼川は未だ整備されておらず、早く取り組んで欲しい。プランに掲載しているとおり、遊歩道を整備し、皆が愉快地歩いていけるようになってほしい。	本プランの方針3に対するまちづくりの取組3-3において「身近な水辺やみどりを魅力的にする」と掲げているため、遊歩道化や魅力的な水辺空間を作りたいと考えています。

	主な意見及び感想等	対応等
市民との協働に関する意見	なぜ、パブリック・コメントを公表した後に策定という手順になっていないのか。これが市民との協働と言えるのか。	本プラン(案)を示した上で、その(案)に対する御意見を頂き、その意見を踏まえて本プランを策定しています。パブリック・コメントの公表と本プランの策定期間は同時となります。
	平成26年度の市民説明会での意見、質問に対する市の見解はどうなっているのか。	平成26年度の市民説明会で実施したアンケートの意見については、市ホームページに掲載しています。
	若い世代を含んだ幅広い方々が説明会などに参加できるよう取り組んで頂きたい。もっと新しい人が参加できるようにした方が良い。	まちづくりを進めていくに当たっては、(仮称)まちづくり協議会の中で幅広く議論できるように今後体制等を検討していきたいと考えています。
	駅前通りや本町通りの整備などに関して(仮称)まちづくり協議会に参加して、分科会で意見したいと思う。	(仮称)まちづくり協議会に参加して頂きたいと考えます。
	これから設置する(仮称)まちづくり協議会の役割は非常に重要と感じる。モチベーションを下げないような取組をすべきと思う。(仮称)まちづくり協議会や分科会には、まちづくりに興味がある方が参加されると思うので、市の方も上手にこの組織を運営して、具現化を図ってほしい。	(仮称)まちづくり協議会は大事な組織と認識しており、行政と市民が対立せずに新しい考え方を生み出せるような(仮称)まちづくり協議会になってほしいと考えています。また、できるだけ可視化を念頭において、なるべく皆様が意見を言える環境や道具を整えていきたいと考えています。
計画の推進等に関する意見	これまでの個々の計画と本プランとの関係や、本プランに位置付けているリーディングプロジェクトの進め方についてお聞きしたい。	本プランはまちづくりの基本的な方針を示しており、網羅的に取組を整理しているが、既に取り組んでいるものもあります。できることから進めていきたいと考えています。
	本プランの計画期間は、おおむね20年間と記載されているが、その根拠がわからない。全体の計画期間は20年であるが、個々の事業によっては、5年や10年でできるものもあるのではないのか。	本プランの計画期間は、おおむね20年としているが、すべての事業が20年かかるわけではなく、リーディングプロジェクトの中で進められるものから取り組んでいきたいと考えています。
	本プランの計画期間はおおむね20年と記載されているが、20年以内に計画どおりに実現するという理解で良いか。	本プランは、まちづくりの基本的な考え方を示しています。確実に20年で完成するとは言えませんが、このプランに示したまちの将来像を目指し、できることから進めています。
	5年、10年、20年といった間隔で、例えば、将来人口などの具体的な数値目標を設定できないのか。	本プランには、具体的な数値目標は盛り込めておりませんが、市の全体の計画の目標としては、さいたま市の人口ビジョンなどの計画に目標が記載されています。
	本プランの計画期間はおおむね20年と記載されている。“おおむね”ではなく、具体的な計画期間を示してもらいたい。	概要版はおおむね20年と記載しているが、本編はリーディングプロジェクトごとに取組の展開を示しています。
	北与野駅前と南与野駅前、都市計画という観点では整備が終わっているが、与野本町駅前、そのような計画はあるのか。今の状況では、住宅が密集しており、防犯、防災上、いろいろな問題があると思う。	北与野駅前、南与野駅前、区画整理事業を進めました。与野本町駅前はこのような事業の計画はありませんが、今後、良好な景観等をどのように進めるべきかを皆様とともに考えていきたいと思っています。
	住みよいまちと言われているが、全く活気もなく、商店街もなくなっている。また、少しの買い物でも10分程度歩く。この状況が何年先まで続くのか。	本プランでは、おおむね20年を目標としているが、20年かけて進めるということではなく、リーディングプロジェクト1の公共施設の再編や与野中央公園の整備、与野本町駅周辺の利便性の向上に向けて、連携を強化してできることから進めていきたいと考えています。
	本プランの策定に感謝している。リーディングプロジェクト事業を挙げて頂き、ありがたいと思う。	ご意見ありがとうございます。